



パワー浜松ロータリークラブ週報2014年11月4日号
本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう
～心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ(2014-15年度会長:小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC



第555回例会 11月4日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシー間

- 司会: 鷲津有一、市川正良 ●点鐘: 小林昭次 ●ロータリーソング: 「ありがとうロータリー」
 - ゲスト: 中島克也様、井下佳久様・米山記念奨学生 暢婉君さん
 - 議事: 職業奉仕委員会 中島克也様、井下佳久様卓話 「航空自衛隊パイロットOBが語る体験談」
- <出席報告>本日出席率59名 71, 9% 前々回出席率86, 6%



■会長挨拶

おはようございます。
日曜日、弊社で、池上彰さんのセミナーを沼津で行いました。昨年は静岡でした。応募が3,000人ありましたので、抽選と、弊社のお客様にもご案内して、1,000名分程、席を設けて聞いて頂きました。大変良いセミナーでした。テーマは「環境の問題」で、環境貢献と言うコンセプトで商品を開発しようという事です。
環境ライフラインカンパニーと言う所では、下水管の補修で、管の穴の中に入らせないの管を送っていくとそのまま配管になるもので、ほじくり返す必要が無いという事もあり、今あちこちの自治体等で使われています。また、自動車ガラスに中間膜が入っているものでは、世界の60%がセキスイの製品です。中間膜で、遮熱する環境に配慮した商品です。住宅については、今は何処の会社でもやっていますが、商品としてソーラーをのせたのはセキスイハイムが最初です。最初は、中国地方で平らな屋根の家がなかなか売れなかったことや、中国電力からの話もあり、平らな屋根に太陽光をのせたらどうかという話になり、そうした物を販売した処、よく売れました。当時、買い取りと言う事は無く、環境に優しいと言う売りで販売した処、その考えに共鳴したお客さんが随分おられたので、中国地方でよく売れました。それを見て全国でも取り扱ってみようという事になってから、その後電力会社が買い取るようになりました。弊社は全国的に取り扱うという事で、シャープさんと提携しました。シャープは、ソーラーの新しい工場を作り、価格を安くしたことで他の住宅会社も使えるようになりました。そういう意味では社会貢献出来ているかなと思います。今は、ソーラーをのせるだけでなく、蓄電池、バッテリーを付けて、何かあった時に備えた住宅を販売しています。住宅につける蓄電池は、量が少ないので、一番大きな電気自動車のバッテリーと住宅をつないだ住宅を販売するという事もあり、昨年と今年と池上先生にお願いをしてセミナーをさせて頂きました。昨年は、池上先生からサイン本を頂きました。今年も本を頂きましたので、しっかり読んでいこうと思います。

■幹事報告

おはようございます！
ゲストの皆様、早朝よりお越しいただき誠にありがとうございます。
第555回幹事報告をさせていただきます。
来週11月11日の例会は11月16日の地区大会に例会変更させていただきますので休会です。お間違えの無い様にお願致します。
また、出席奨励委員会の皆様には早朝よりメイキャップ受付をして頂く事になりますが宜しくお願い致します。いつもご協力ありがとうございます。
16日の地区大会の集合時間や場所などはオールパワーで配信させていただきます。
宜しくお願い致します。
以上、幹事報告でした。

■委員会報告

社会奉仕委員会

ねむの木学園のカレンダーの集金日が18日となります。一部2300円、送料が部数関係なく60円必要となります。

米山記念奨学会委員会

10月19日米山梅吉記念館においてカウンセラー研修会が開催され、地区委員長小澤、青山、小田木、中野で参加してきましたので報告します

■スマイル

原田道子: 1,000坪以上の敷地に、280坪の店舗のGUが、掛川国一沿いにオープンしました。もちろん店舗を貸すだけですが、勉強とスリルと企画力、決断力、度胸が必要です。まだオープンしてから見に行っていない。出来てしまえば興味が薄れてしまいます。不動産投資については、何でもご相談ください。杏林堂、100均レモン、セブンイレブン、GUと展開しました。
青山素久: 恒例となりました日本酒の利き酒会を11月16日に開催します。ご興味のある方は、声をかけて下さい。
小澤邦比呂: 11月1日、2日と、2日にわたり、地区米山奨学事業の、地域貢献活動として、甲府駅北口において、地区米山委員、米山奨学生、米山学友会、甲府ロータリークラブのメンバー総勢30名程で、ポリオ募金・清掃活動を行って参りました。また、宿泊しての懇親会では、ロータリアン、米山奨学生、米山学友会の心が一つになった、和気あいあいとした素晴らしい会となりました。中野力カウンセラー、暢婉君さんお疲れさまでした。ありがとうございました。

■議事 「空自パイロットOBが語る体験談」
浜松帝国警備保障(株) 中島克也様・井下佳久様
卓話

航空自衛隊での体験談を話させていただきます。
私中島は、18歳で高校を卒業後、航空自衛隊のパイロットの試験を受け、23歳から戦闘機に搭乗しました。実は、パイロットの資格はヘリ・輸送機・戦闘機と全てバラバラなのです。

2人乗りのFMファントムに合計2000時間乗り、北海道から沖縄まで勤務しました。33歳からはF15イーグルに乗ることになりました。一人乗りのF15は100億円し、当時世界最高の戦闘機でした。戦闘機は体力の衰えから40歳で定年となり、それ以降は浜松基地で学生を対象に教官として勤務することになりました。仕事内容は、自分の訓練として空中戦・射撃ミサイル実弾夜間訓練、学生への訓練、国籍不明機が接近した場合の対応です。スクランブルに備え、24時間4機が待機しています。ラストフライトの時には後輩から水を掛けられるセレモニーを受け、後輩の指導にあたることになります。浜松での飛行訓練は長野甲府のルートや沖縄や北海道に行ききます。空から見える虹は半円ではなく、円になるため感動でした。

私井下は、浜松出身です。防衛大学校を卒業後の入隊から32年間T33やC1等の輸送機のパイロットをしていました。ボーイング社の研修を受け、政府専用機にも乗ってきました。通常、空港の事前調査、路線完熟、運行訓練、本番に臨みます。総務として、ホテル・パスポートの管理、出入国手続きは、一空港2日間で調整をしますが、ベルリンの空港では装甲車で陛下を警備をしてくれました。皇室運行は総理の運行と異なり日程がゆったりしており、運行ごとに皇室のお茶会に呼ばれます。イラク難民支援協力業務、イラク復興支援、インドネシア緊急援助の国際貢献にも関与しましたが、米軍のサポートは素晴らしい一方、我が国の72号機は、一か月半故障することもなく素晴らしい飛行機でした。ラストフライトでは1月に水を掛けられたものの無事任務を終えることができました。ありがとうございました。

